



港区新橋5-15-5
交通ビル 3F
国労東日本本部
発行責任者 佐藤 勝雄
編集責任者 伊藤 隆夫

2004年7月20日
第614号
定価 20円
組合員の購読料は
組合費に含まれています

今こそ解決を！
団結・連帯・統一の力で！8.23集会
日時：8月23日（月）18時30分
場所：大井町・きゅりあん
主催：国労・建交労

東京地本に続き、今度は千葉地本！続々と国労加入 組織拡大の大きなうねりを創り出そう！

7月1日の東京地本・甲府支部、新開幸治さん（49歳）に続き、15日には千葉地本・千葉支部、野口幸広さん（43歳）が国労に加入！という嬉しい知らせが千葉地本より報告されました。

この2人の組織拡大により、5月15～16日に開催した、国労東日本本部組織拡大対策会議をはさんで、3人の仲間を国労の仲間として迎え入れることが出来ました。

今号は、①組織拡大報告、②家族会・婦人部の学習交流会報告、③地方NEWSから、としました。各地方・職場から国労運動に自信を持ち、組織の強化・拡大に向け集中しましょう！

7月1日、八王子支社・甲府駅に所属する新開幸治さんが、めでたく、甲府支部・甲府駅連合分会の仲間となりました。新開さんの国労加入は『労働組合として当たり前の「民主的な分会活動」と日常不断の「世話役活動」～「みんなで問題を考え解決に向けた努力を行う」分会組織作りが、今回の組織復帰を～』[甲府支部組織速報]と、報告しています。

また、千葉支社・銚子運転区に所属する野口幸広さんの組織加入も、国労銚子運転区分会の仲間を大切に作る粘り強い取り組みが、信頼関係を高め今回の加入に結びついたものです。

組織拡大は、労働組合にとって元気の「源」です。引き続き、各職場から仕事総点検運動を展開し、「足下からの「安心して働き続けられる職場作り」、「安定・安全輸送の確立」から国労運動に自信を持ち、組織拡大に向け奮闘しよう！

良かったのかどうか今も考えている。また、分割民営化時に仲間だった人達が脱退していった時の思い、国鉄闘争の解決を現職で見られなかったのが悔しい、と語るうち、参加者も当時のことをいろいろ思いだして目頭が熱くなる場面もありました。

続いて、4月からスタートしたFプログラムについて話しあいました。各支社によって扱っても様々で、冊子を配ったり、説明会、アンケートを行う所、何の説明もない所もありました。ポジティブアクションは女性運動の到達点であり生かしていきたい、男性の意識も変えなければという意見や、東京地本では常任委員会の中で、冊子の読みあわせや問題点、疑問点を解明していこうと取り組んでいる報告もありました。東日本婦人部としての意見や考えをまとめるためにも、毎年行っている労働実態調査アンケートの中に項目を作り、参加していない人達の意見や、参加して話を聞いてから思ったところなど書いてもらうようにしました。

2日目は職場の実態を中心に交流しました。緊張感と密度の濃い仕事の中で、ストレスがどんどんたまっていく、遺失物のパソコン検索で目の疲れ、肩、頭痛がするといった苦しい状況が報告される一方で、スポーツジムに行ったり体を動かしたり、旅行に行ったりしてストレスを解消している、他の職場の人の話を聞くと励まされる、こういった話ができる場が大切だという意見もありました。

沢口さんに参加者からの寄せ書きと記念の品をお渡ししました。10名の女性の闘争団への寄せ書きと、一円カンパも御協力いただき、9160円も集り、また、沢口さんから講師の謝礼もカンパとしていただきました。

また来年は、新しい仲間も連れてこられるようそれぞれ職場でがんばって元気に会いましょうと約束をして、団結がばらうで散会しました。(佐々木 久恵)

激励先

(新開幸治さん) 国労甲府支部気付 国労甲府駅連合分会
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-1-5
FAX 0552-35-5353

(野口幸広さん) 国労千葉地方本部気付 国労銚子運転区分会
〒263-0023 千葉県千葉市稲毛区緑町1-31-9
FAX (公衆) 043-238-5967

第14回婦人部 “明るく元気に”学習交流会開催

第14回“明るく元気に”東日本婦人部学習交流会を、7月10日から11日の2日間、八戸コートリーにて、22名の参加で開催しました。学習会の講師は、今年6月末で定年退職された元三沢駅の沢口征子さんをお願いし、婦人部活動をふり返ってのお話をしていただきました。看護婦として採用されながらも人材活用センターへ、分割民営化後は直営売店へ、たこ焼き、たいやき売りをさせられ、三沢駅の旅行センターへという、38年3ヶ月をふり返り、働き続けるという思いでここまで来たが、それが



来年も元気で会いましょうと約束

第14回家族会 東日本連合会学習交流会報告

家族会東日本連合会第14回学習交流会が7月3日（土）～4日（日）の二日間、千葉県南九十九里海岸のホテル一宮シーサイドオオツカにて、42名の参加を得て開催されました。

冒頭、阿部会長（仙台）の挨拶に続いて、地元、国労千葉地本の清水組織部長、井村教宣部長から、歓迎の挨拶をいただきました。

1日目は学習講座で、第一講座は東日本本部佐藤委員長から『最高裁判決と今後の国労運動の課題』と題して、続いて第二講座は「月刊労働組合」編集部の松上隆明さんから『有事体制作りと私たちの生活』ということでお話をうかがいました。

二つの講座を聴いての参加者からの感想は、「佐藤委員長の話は明るい兆しが見えました。今までの国労いじめが矛盾を生み、会社も対策を講じる必要に迫られ、国労の言い分に耳を傾けざるを得ない状況が出てきたようですね。道理にあった意見

は尊重されなければ、三菱自動車のようになりかねません。現場の人の意見を聞かずに、安全な輸送が守れるとは思いません。」(千葉)「有事法の話は、タイミング良く、興味深く聴きました。この法律に風穴をあける最後の砦は労働組合の幅広い団結の力にあるとのこと。何故、国鉄が分割・民営化されたのかの原点に、もう一度立ち返って私たちが考える、よい機会を頂きました。」(高崎)など、好評のうちに終えることができました。

夕食交流会では、千葉家族会上村会長の乾杯の音頭で始まり、長旅の疲れも感じさせず、一人ひとりの自己紹介も交えながら、お酒もチョッピリ? おおいに懇親を深めました。

二日目は東日本家族会としては久々のレク。一宮を離れて、大多喜町の山合いにある「ハーブアイランド」で“ハーブと木の実の壁掛け”教室に挑みました。皆おもしろい手作りの作品を完成させ、家で待つお父さんへの“プレゼント”? にして帰郷の途に着きました。(武笠 道夫)



レクリエーションの前に参加者で記念写真

各地方・支部・職場

Newsから

ああ・・・今年もベアなし・・・ 「春闘」、定昇実施が焦点になるとは・・・

- 夕方のタイムサービスねらってる
- リサイクル1回1円おとくだね
- 火曜日は火曜特売するんだよ
- 東急は特売ないから残念だ
- お母さん安いものだけねらってる
- おかあさんチラシをみれば、もうダッシュ
- たった10円、とても気に入るうちの母
- お母さん、いつも安い物なぜねらう
- デパ地下で試食したがるぼくと兄
- ユニーではいろんな物が安いんだ

学年末、小学三年生の子供の最後の保護者会が開かれた。最後でもあるので行ってみた。お父さんはたった一人。隅のほうでひっそりしていた。教室の後に「買物カルタ」がはってあった。面白いので抜き書きしてきた。そしてしみじみ思った。どこの家庭でも家計に四苦八苦しているんだなと。ああ・・・我が家だけじゃなかったんだなと、ホットした。

今、コイズミという名の方が日本の首相をやっているらしいが、昨年から1年間で35兆円ものアメリカ国債を買った。この国債はアメリカの金庫に眠っていて、買ったのはいいけど、全く売つものないもの。要するにただで三五兆円もの金をアメリカにくれてやったようなもの。コイズミという人の親分であるブッシュがイラク戦費に使うのだろう。日本の金をアメリカのイラク戦費に拠出なんていうと、ひんしゅくを買うから

「アメリカ国債を買う」という形でごまかしているのだろう。これだけの金があれば、旧国鉄債務なんて、軽くふき飛ぶものを。

円高阻止のため、為替相場に政府が介入して、円でどンドンドルを買った。増えすぎたドルでアメリカ国債を買ったのだ。この円は我々の血税である。

コイズミという人はアメリカ、ブッシュ親分のためには我が家の家計をかえりみることがない。

「分会ニュース」(国労大井機関区分会) No.97 (04年5月10日)

今年もやっています 線区別交流会

支部は04年系統・線区別交流会を5月初旬から随時開催している。これは一昨年以来提起実施しているもので、今回は6月中旬まで七線区のべ11回の開催を企画している。

02年に取り組みが始まった系統別・線区別交流会は日頃他系統、あるいは関連する系統との交流が少ないという現状と、一つの問題の捉え方も系統別によっては視点が変わるために、解決策についても当然異なった考え方が出てくる。それらの突き合せをおこないながら要求の組み立てとして、何がベストなのかを考えて行こうという狙いで行われている。ひとつ例をだすと、「車椅子」の利用者にたいする「案内」についても駅側の考え方と、車掌の考え方では随分と違っていたことも浮き彫りとなった。会社がそれらの統一した対応を行っていないという問題点も明らかになった。このことによって、要求の作り方も変わってくる。またこの交流会は少人数で行なわれているために細かい話まで、具体的に交流できるのも利点になっている。

16年度は期間満了の年 出向会社でも交流会

系統別交流会は出向会社でも行われている。特に今年は3年間の出向期間が終わる最後の年度で事業所別に交流会を開催するように考えている。ある出向会社の交流会は昼食時間の短時間であったが、15名ほどが参加、昼食をとりながらの交流会となったが、話題は出向期間が満了した後の選択肢について集中した。機械の担当者らは、「任期満了後にJRに戻ったとしても機械がない」「戻っても居場所がない。戻っても、残ってもつらい」と今後の選択肢の難しさをのぞかせた。「JRに戻っても『この仕事しかありませんよ』といった言い方で会社は言ってくる。その言い方に圧力を感じる」「3年経ったら必ず帰れるのか、あるいはすぐまた出向とすることがあるのではないか」と現在の出向制度にも疑問を投げかける一方で、選択については本人の意思を尊重して欲しいというのが、分会も組合員も共通して持っている考え方ようだ。

会場探しに苦労も 居酒屋談議でもいいじゃないか

この系統・線区別交流会、基本的に集まりやすい職場の近くで開催していこうということ、少人数でも2日間に分けたりしながら開催しているが、開催場所の確保に苦労しているのが実態だ。時には支部事務所で、時には近くの公民館で、時には近くの居酒屋でと、集まれる場所があればどこでも開催していこうということにしている。居酒屋で職場の問題を議論することだって(俺はいつもやっているという人もいますけど)時には必要では。この交流会、そんな雰囲気で開催されているのでぜひ参加を。

「国労大宮」(国労大宮支部) No.54 (04年5月25日)

僕のがん保険は、
病気もケガも保障する。

しかも、保険料が生上らない保障が生づく。
がん保険を選ぶならアメリカンファミリーです。

新健康応援MAX
終身タイプ

21世紀がん保険 特約MAX21

「がん」の生涯保障<21世紀がん保険>	
BESTプラン・1倍	ご本人の保障
初めて診断されたとき	100万円 (一時金として) がんの場合 上記内新生物の場合 10万円
入院したとき	1日につき 10,000円
手術を受けたとき	1回につき 20万円
高度先進医療を受けたとき	技術料に応じて 6~140万円
通院したとき	1日につき 5,000円
がんで死亡したとき	10万円

AFIAC アメリカンファミリー生命

東京第三営業本部 第三支社 ☎03-3344-1889
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

がん以外の「病気・ケガ」の生涯保障<特約MAX21終身タイプ>	
ケガの保障は90歳までとなります。	ご本人の保障【本人型】
病気で入院したとき	1日につき 5,000円 (1日目から)
ケガで入院したとき	1日につき 5,000円 (1日目から)
がんを含む病気・ケガで 所定の手術を受けたとき	1回につき(手術の種類により) 5・10・20万円

●詳細はパンフレット、ご契約のしおり・約書をご覧ください。

アベニール 株式会社

TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F